

## 甲府地域重力構造図について Gravity tectonic map of Kofu district

駒澤 正夫<sup>1\*</sup>

KOMAZAWA, Masao<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 産業技術総合研究所地質情報研究部門

<sup>1</sup> Geological Survey of Japan, AIST

甲府盆地の低重力異常は、富士川を北上し、諏訪盆地にいたる糸魚川 - 静岡構造線の東側に存在する低重力異常帯の一部である。盆地の西縁と南東縁は急勾配になっており逆断層的な構造に対応している。特に、盆地の南の出口である鰍沢（かじかさわ）町付近は富士川沿いの低地ではなく数 km 西の丘陵地で重力が最小になっており、低密度物質が丘陵の下に積み込まれているような構造をしている。甲府盆地内の重力基盤は全域が海水準下（深度は 250m 以上）で地形と相関しているが、海拔-2000m より深い最深部は、盆地の中央部ではなく盆地西縁の市ノ瀬台地の麓にあたる南アルプス市大師と盆地南東縁の首根丘陵の麓の中央市にあり断層縁辺部が断層で画されていることと盆地の深部構造が複雑であることを示している。

キーワード: 甲府盆地, 重力構造図, 糸魚川 - 静岡構造線, ブーゲー異常, 重力基盤

Keywords: Kofu basin, gravity tectonic map, Itoigawa-Shizuoka tectonic line, Bouguer anomaly, gravity basement